

わ ちよう  
和田町

## 町沿いに流れる飛鳥川

川や道の曲がった場所を曲処（わど）と言います。この「曲処」が転じて「和田」となったようです。県内に約八〇か所の「和田」をはじめとして「和田峠」「和田岸」など、曲処に関係する地名が合わせて約一五〇か所もあります。しかも大半が吉野川の曲流する山間で険しい地形の吉野郡内にあります。このことから「和田＝曲処」であることは、まず間違いありません。

隣の明日香村豊浦地区を北に流れてきた飛鳥川が、甘櫛丘（あまかしのおか）の北で西に大きく曲がり込み、北西に流れを変える西側一帯に和田町があります。町の南東に接する豊浦地区に「和田池」が現存しますので、かつて豊浦から続く一帯を「和田」と言ったのでしょうか。

平安時代末期・寿永元（一一八二）年の東大寺関係文書に初めて「和田庄」の地名が登場します。鎌倉時代中期・建治元（一二七五）年の同寺関係文書に「輪田庄」とあり、そのようにも呼ばれたようです。

当町の一帯は、江戸時代から明治二二年まで「和田村」と呼ぶ農村でした。そのあと白檀村に続き畝傍町の大字となり「檀原市和田町」となったのが昭和三二年です。